

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた改善内容・改善目標		
		はい	どちらともいえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見	
関係機関との連携（続き）	3 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備											
	4 児童発達支援事業所及び放課後等デイサービス事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	1	1		小学校での支援会議に参加し情報共有に努めた。						十分な情報共有・支援に取り組めるよう、定期的に機会を設けるようにしたい。	
	5 他の障害福祉サービス事業所等への円滑な移行支援のため、それまでの支援内容等についての十分な情報提供	1	1		町内の事業所間(放デイ、相談)では、定期的に連絡会を実施している。						互いの状況を知ったうえで、利用者がより効果的に療育を受ける事ができるよう、必要な情報は共有していく。	
	6 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	1	1		療育支援事業を利用し研修を行った。						つながりのある専門機関とは、研修の依頼や相談などを継続し、緊急の際にもアドバイスいただけるような関係性を持ってほしい。	
	7 児童発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障がいのない子どもと活動する機会の提供			2	感染対策により、機会が減っているが、以前のように児童館に遊びに行ったり、児童クラブと協働で何か子どもたちが楽しめる活動を検討している。	8			4		ボランティアとして事業所にきてもらって一緒に楽しんだり、児童クラブを地域の資源として活用したり、児童クラブと協働活動を考えたりするなど、感染のおさまりを待って、機会を持ちたい希望はある。	
	8 事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営			2							現状、感染対策として、特に地域との関係性がうすれているが、感染のおさまりを持って、機会を増やしていきたい。	
	保護者への説明責任・連携支援	1 支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	1	1		丁寧な説明を心掛けている。	12					
		2 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	2			丁寧な説明であると感じられるよう、十分な説明を行うことを心掛けている。	12					
3 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施		1	1		ペアレントトレーニングとしては、放デイについては実施していない。	12					ペアレントトレーニングではないが、各種子育てに関する研修会を保護者対象で実施している。	

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた 改善内容・改善目標	
		はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見
保護者への説明責任・連携支援（続き）	4	子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	2				12				
	5	保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	1	1			12				保護者の回答によるとできているという事であるが、事業所としてしっかりとできているかは自信がない。
	6	父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	1	1		保護者さんとは話す機会も顔を合わす機会もない、広がりを持った集まりを計画したい。	11			1	保護者会については、周知はしているものの、活動のある時に参加ができないことがあるため、保護者会活動として目に見えず、分かりづらい事がある為、周知の方法や説明の仕方を工夫していきたい。
	7	子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	2			保護者への説明は契約時に説明する。実際に苦情のあった場合はマニュアルに沿って対応し、法人内では定期的に委員会を実施。	10			2	保護者への説明が不足している。周知の方法を検討する。
	8	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	2			意識して、不足している事はないか、情報伝達が正確にできているか等、職員間で連携を図り、迅速な対応が出来る体制づくりに務めている。	12				
	9	定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	1	1		マチコミの活用。ホームページにて掲載。年に1回、子どもや保護者、スタッフの思いを綴った文集を制作している。（保護者会と共に）事業所内に活動や行事の様子を写真で記録し閲覧してもらえるようにしている。	10	1		1	自分たちができる発信の仕方を工夫していきたい。マチコミメールの配信。
10	個人情報の取扱いに対する十分な対応	2			契約時に説明等を行い、その後も十分に配慮している。	12					
非常時等の対応	1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	1	1			8	1		3	マニュアルとしてはあるものの、いざという時に対応できるかや不安があるが、職員が訓練を重ねていくことで安全に避難できるよう努めていきたい。コロナ感染症については、随時情報が変化していくため、その都度対応も変わっていった。、保護者への周知も徹底の機会も作っていきたい。
	2	非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	2				8	1		3	保護者全体への周知ができていない。実施をした際の周知の方法を検討していきたい。

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた 改善内容・改善目標	
		はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見
非常時等の 対応（続き）	3 虐待を防止するための職員研修機会の確保等の適切な対応	2			外部研修ができない時には、内部で研修の機会を持つようになっている。						
	4 やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・理解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	1	1		該当児童は在籍していないが、対応についてスタッフ間で共有している。						身体拘束について職員間で、改めて検討する機会を持ち、理解をしたうえで進めていきたい。
	5 食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応		1	1	保護者へ確認するようになっている。放デイでは、調理・食事時間があるので、必要に応じて医師の指示を仰ぐようにする。						体調の変化が見られる場面もあるため、把握しておく必要はある。聞き取りをしっかりとるようにする。
	6 ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	1	1		ヒヤリハット・アクシデントについて、スタッフ間で情報共有し、話し合う機会を設けている。						環境の設定や職員の配置などについて改善点を確認し、同じ失敗のないように心がけている。虐待防止にもつながる場面の検証にもなるため、職員間で意識統一を図りたい。